

電気通信事業分野における最近の動向について

～電気通信サービスの契約数及びシェアに関する四半期データ(平成25年度第1四半期(6月末))より～

平成25年10月
総務省電気通信事業部
事業政策課

1. 移動系通信

1-1. 移動系通信／携帯電話・PHS・BWAの契約数の推移	1
1-2. 移動系通信／携帯電話・PHS・BWAの事業者別シェアの推移	2
1-3. 移動系通信／MVNOサービスの契約数の推移	3

2. データ系通信(移動系)

2-1. データ通信(移動系)／移動系データ通信の契約数・シェアの推移	4
-------------------------------------	---

3. データ通信(固定系)

3-1. データ通信(固定系)／ブロードバンドサービスの契約数、事業者シェアの推移	5
3-2. データ通信(固定系)／FTTH(光ファイバ)の事業者別シェアの推移等	6
3-3. データ通信(固定系)／DSLの契約数の推移、事業者別シェアの推移	7

4. ブロードバンドサービス

4-1. 超高速ブロードバンドサービス、ブロードバンドサービスの契約数等	8
--------------------------------------	---

5. 音声通信

5-1. 音声通信／固定電話の契約数の推移、事業者別シェアの推移	9
----------------------------------	---

6. IP電話

6-1. IP電話の利用番号数の事業者別シェアの推移(0ABJ番号、050番号)	10
--	----

(参考) 主要国等におけるLTEの普及状況	11
-----------------------	----

- 携帯電話・PHS・BWA全体の契約数は、2013年（平成25年）6月末で1億4,860万（前期比+1.5%）と増加が続く。
- 内数としては、携帯電話は1億3,763万（前期比+1.2%）、PHSは520万（前期比+2.2%）、BWAは577万（前期比+8.7%）とそれぞれ増加が続く。
- 3. 9世代携帯電話の契約数は2,634万で、携帯電話の契約数に占める割合は19.1%（前期比+4.1ポイント）。

【携帯電話・PHS・BWAの契約数の推移】

(単位:百万)

15

13

11

9

7

5

【PHS・BWA・3. 9Gの契約数の推移】

(単位:万契約)

3

2

2

1

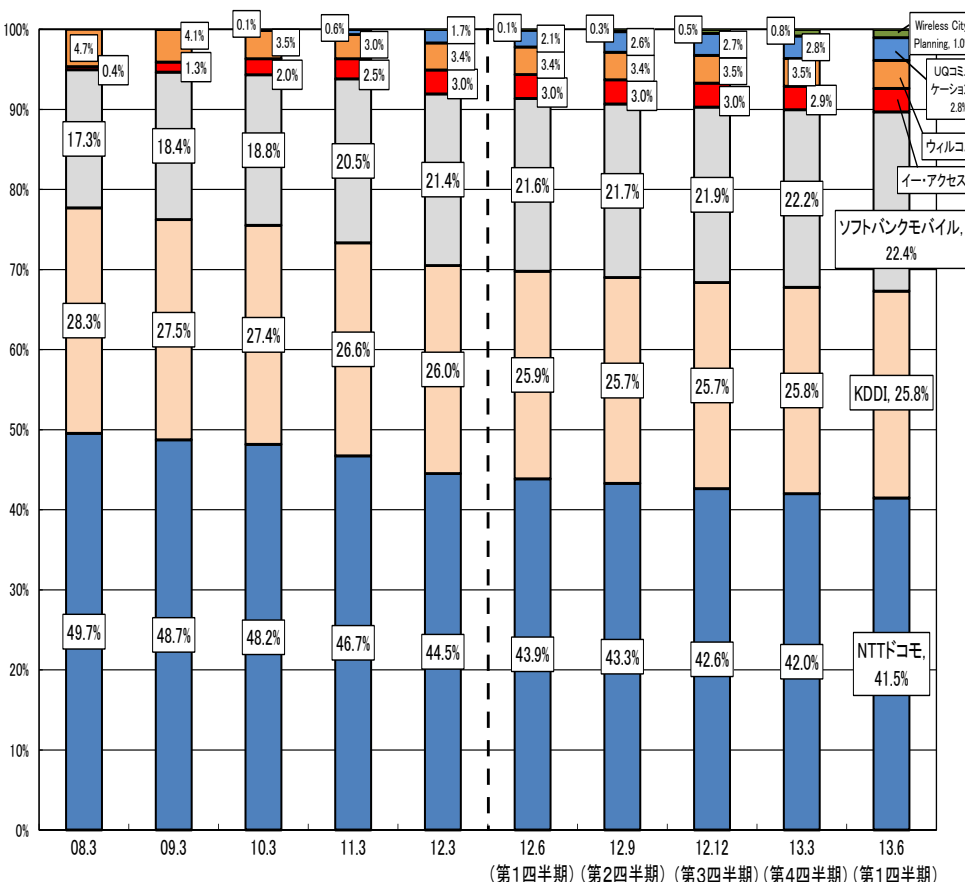
1

注1：各契約数は四捨五入を行っているため、合計値が合わない場合がある。以下同じ。

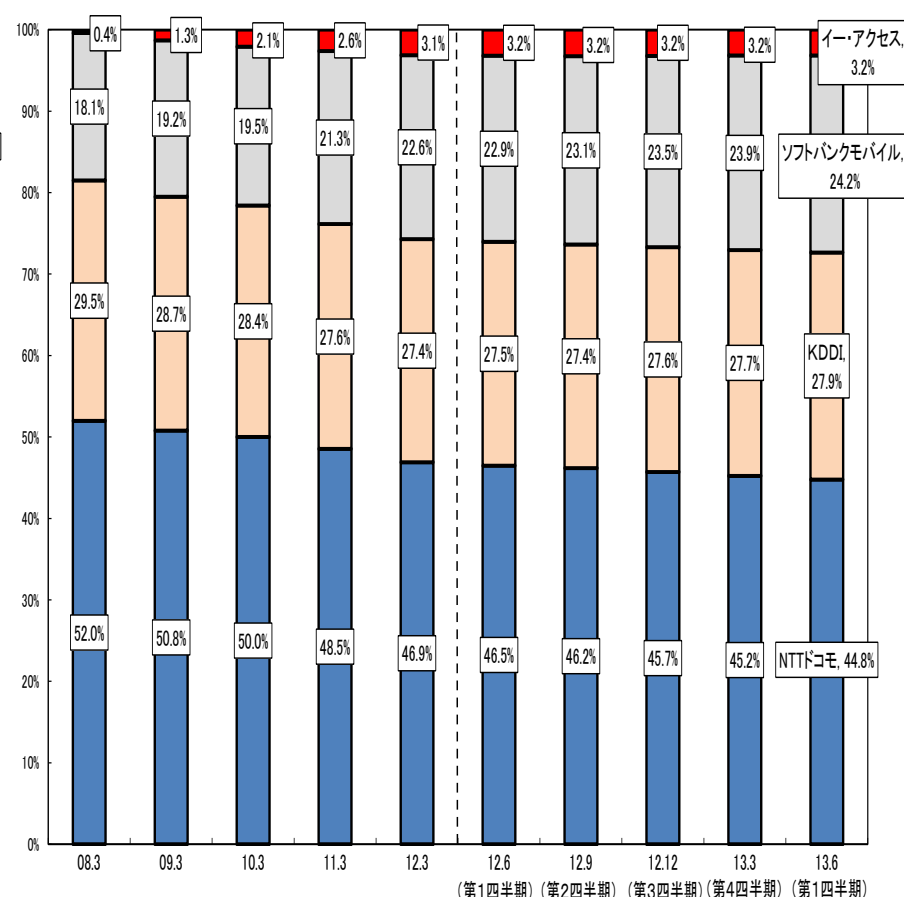
注2：携帯電話・PHS・BWAの総数には、それぞれのMVNOの契約数も含む。

- 携帯電話・PHS・BWA契約数におけるNTTドコモのシェアは、41.5%（前期比▲0.5ポイント）と減少が続く。
- KDDIのシェアは、25.8%（前期比±0ポイント）と横ばい。
- ソフトバンクモバイルのシェアは、22.4%（前期比+0.2ポイント）と増加が続く。

【携帯電話・PHS・BWAの契約数の事業者別シェアの推移】



【携帯電話の契約数の事業者別シェアの推移】

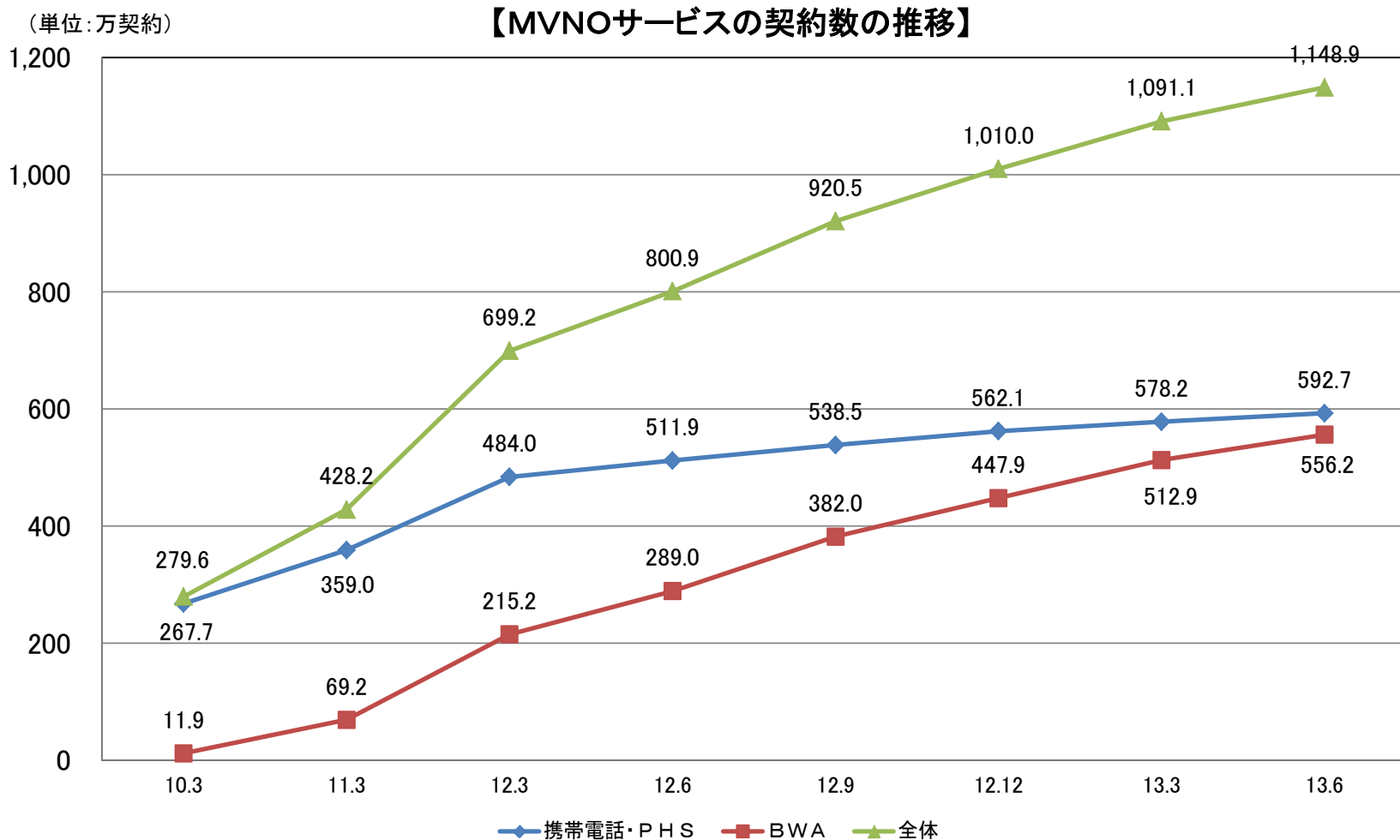


注1：四捨五入の関係上、合計が100%にならない場合がある。以下同じ。

注2：08年3月末までのNTTドコモにはPHS契約数が含まれている。

注3：11年3月末までは社団法人電気通信事業者協会資料による。

- MVNOサービス全体の契約数（携帯電話・PHS・BWAの契約数の内数）は、2013年6月末で1,149万（前期比＋5.3%）と増加している。
- 携帯電話・PHSをMNOとするMVNOの契約数（携帯電話・PHS契約数の内数）は593万（前期比＋2.5%）、BWAをMNOとするMVNOの契約数（BWA契約数の内数）は556万（前期比＋8.4%）と、ともに増加している。



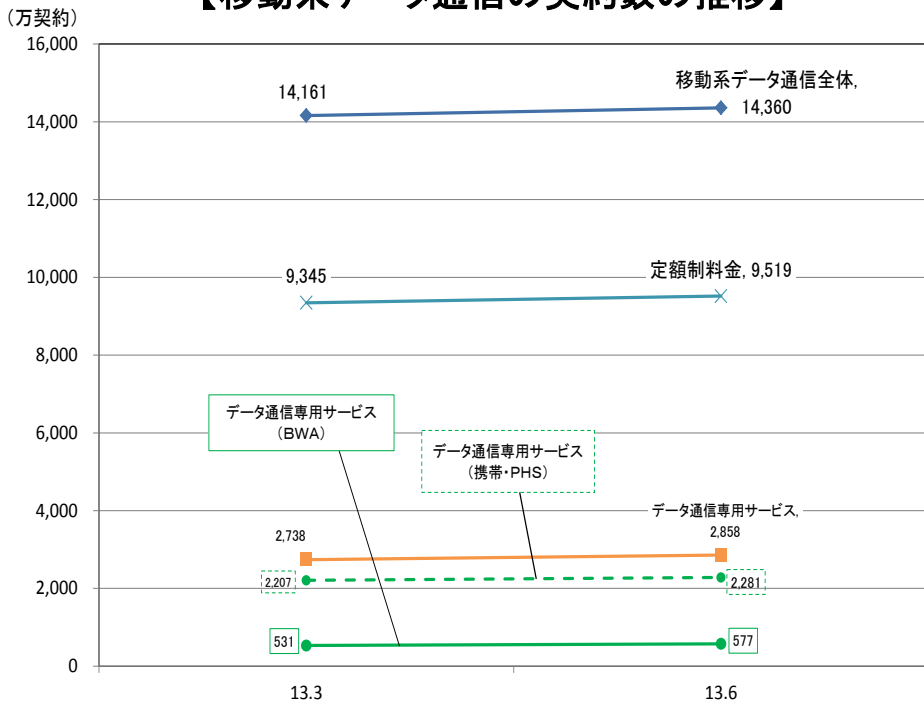
- 移動系データ通信※1の契約数は、2013年6月末で1億4,360万(前期比+1.4%)と増加している。そのうちの定額制料金の契約数は9,519万(前期比+1.9%)、移動系データ通信専用サービス※2の契約数は2,858万(前期比+4.4%)で、ともに増加している。
- 移動系データ通信専用サービスのシェアについては、データ通信専用通信モジュール※3が31.3%(前期比▲0.1ポイント)、データ通信専用通信モジュール以外は68.7%(前期比+0.1ポイント)と、おおむね横ばいである。

※1 携帯電話・PHSアクセスサービス及びBWAアクセスサービスの合計。

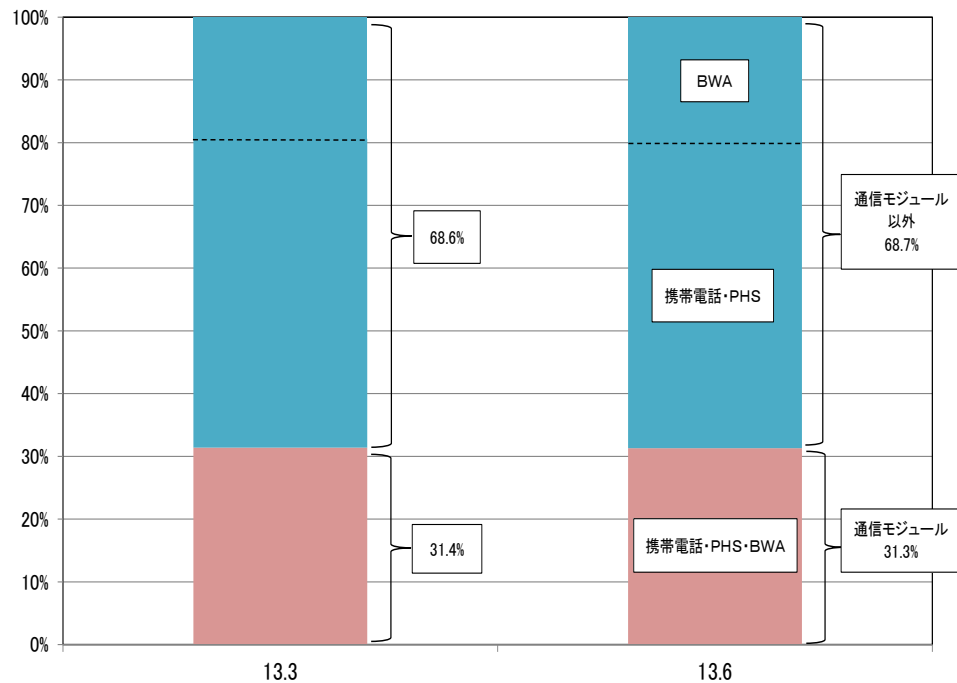
※2 携帯電話・PHSアクセスサービスのうち、提供する回線において音声伝送役務が提供されていないもの及びBWAアクセスサービスの合計。

※3 データ通信専用通信モジュールとは、自動販売機、デジタルフォトフレーム等の機器に組み込み、機械同士のデータ通信等に利用される部品(モジュール)をいう。

【移動系データ通信の契約数の推移】



【移動系データ通信専用サービスのシェアの推移】



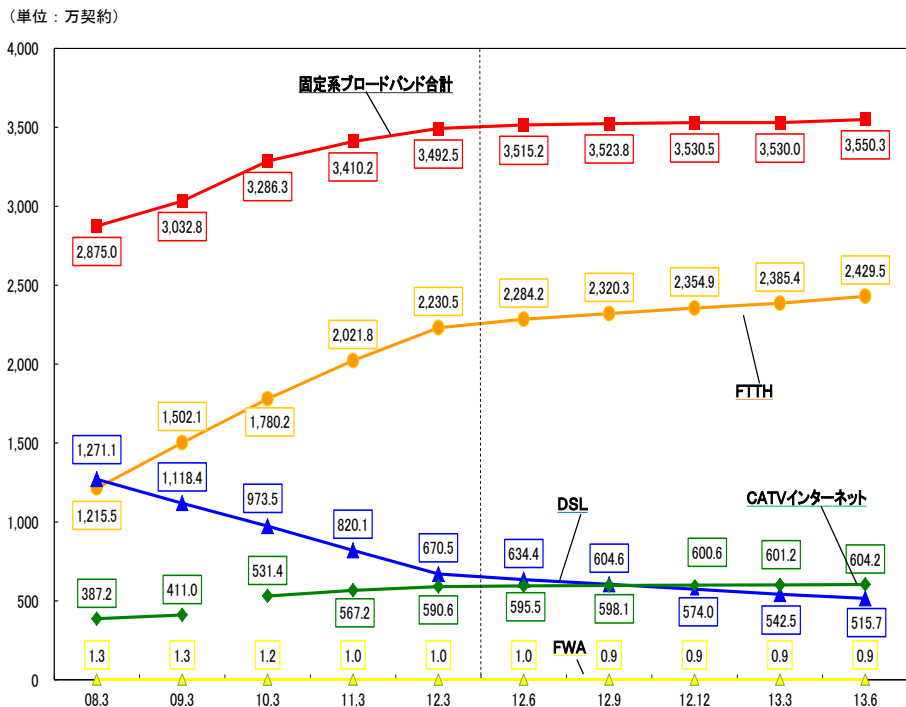
注：通信モジュールについては、携帯電話・PHSとBWAとの分計はしていない。

3-1. データ通信(固定系)／ブロードバンドサービスの契約数、事業者シェアの推移

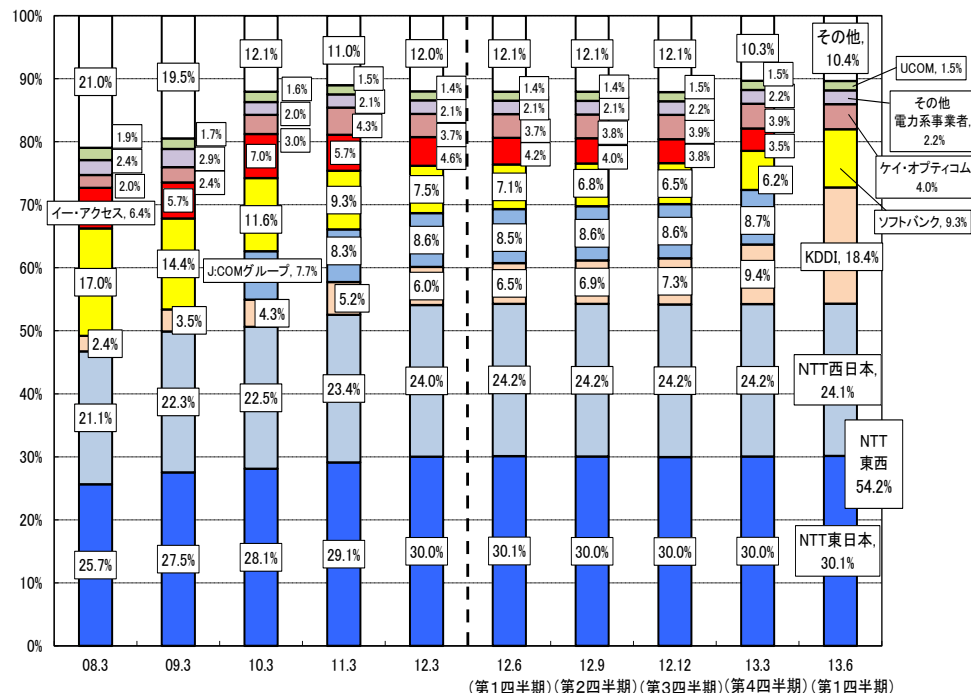
- **固定系ブロードバンドサービス※の契約数は、2013年6月末で3,550万(前期比+0.6%)と増加している。**
- **FTTHの契約数は、2,430万(前期比+1.8%)と増加が続く。**
- **固定系ブロードバンド契約数におけるNTT東西のシェアは、54.2%(前期比±0ポイント)と横ばいである。**

※ FTTHアクセスサービス、DSLアクセスサービス、CATVアクセスサービス及びFWAアクセスサービスの合計。

【固定系ブロードバンド契約数の推移】



【固定系ブロードバンドサービス契約数の事業者別シェアの推移】

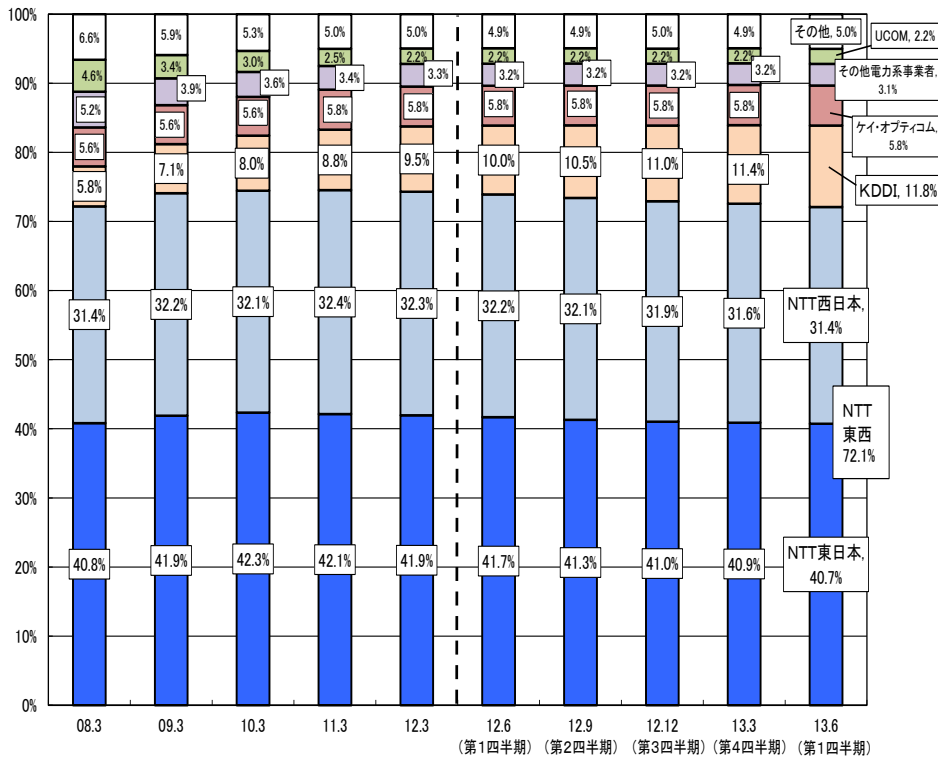


注：一部の事業者より契約数について集計方法の変更が報告されたため、2010年3月末の固定系ブロードバンド合計及びCATVインターネットの契約数及びシェアについて、前期との間で変動が生じている。

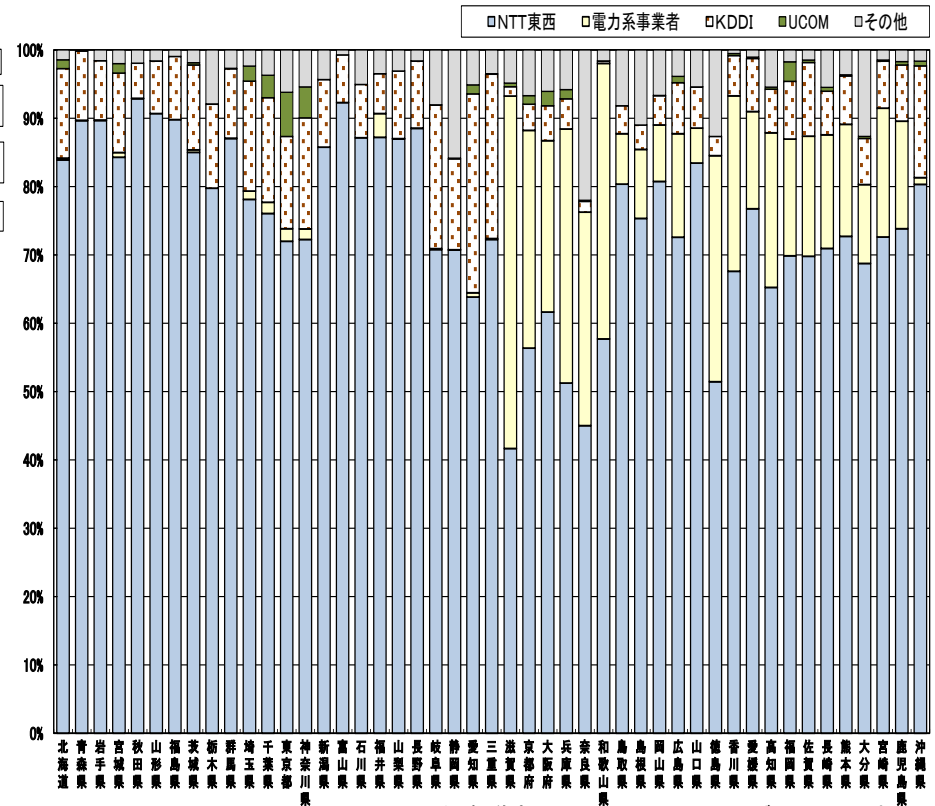
注1：イー・アクセスのシェアには、アッカ・ネットワークスの契約数が含まれる(2009年度以降)。
 注2：KDDIのシェアには、CTC(2008年度第4四半期以降)及びOTNet(2012年度第4四半期以降)、JCN(2012年度第4四半期以降)が含まれる。
 注3：2013年度第1四半期において、イー・アクセスがソフトバンクの、J：COMグループがKDDIの連結子会社となったことに伴い、イー・アクセスとJ：COMグループの契約数については親会社のシェアに合算している。
 注4：この固定系ブロードバンド契約数の事業者別シェアはFTTH、DSL及びCATVインターネットを対象としており、FWAアクセスサービスを含んでいない。
 注5：J：COMグループについては、09.3まではその他を含む。

- FTTHの契約数の総数は、2013年6月末で2,430万(前期比+1.8%)と増加が続く。
- 国内全体のシェアは、NTT東西が72.1%(前期比▲0.4ポイント)と減少する一方、KDDIが11.8%(前期比+0.4ポイント)と増加、ケイ・オプティコムが5.8%(前期比±0ポイント)と横ばい、その他電力系事業者は3.1%(前期比▲0.1ポイント)とおおむね横ばいである。
- 都道府県別の事業者シェアは、西日本では、電力系事業者のシェアが全般的に大きいのに対し、東日本では、NTT東西が大きなシェアが高い傾向にある。

【FTTH契約数の事業者別シェアの推移(全体)】



【契約数の都道府県別事業者別シェア(2013年6月末)】

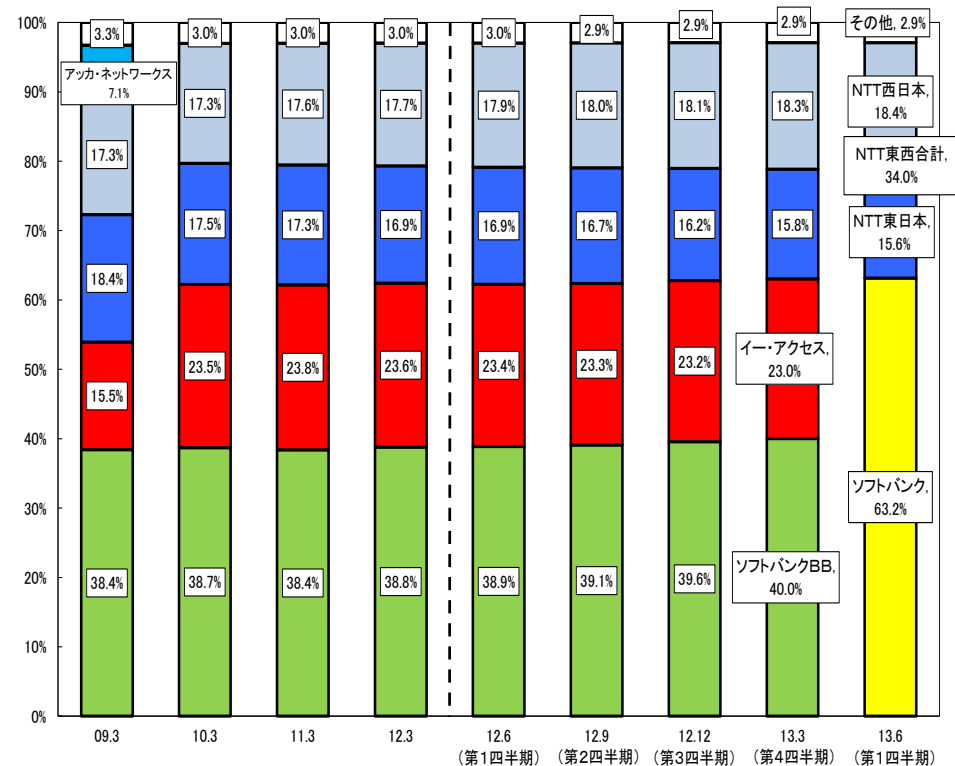
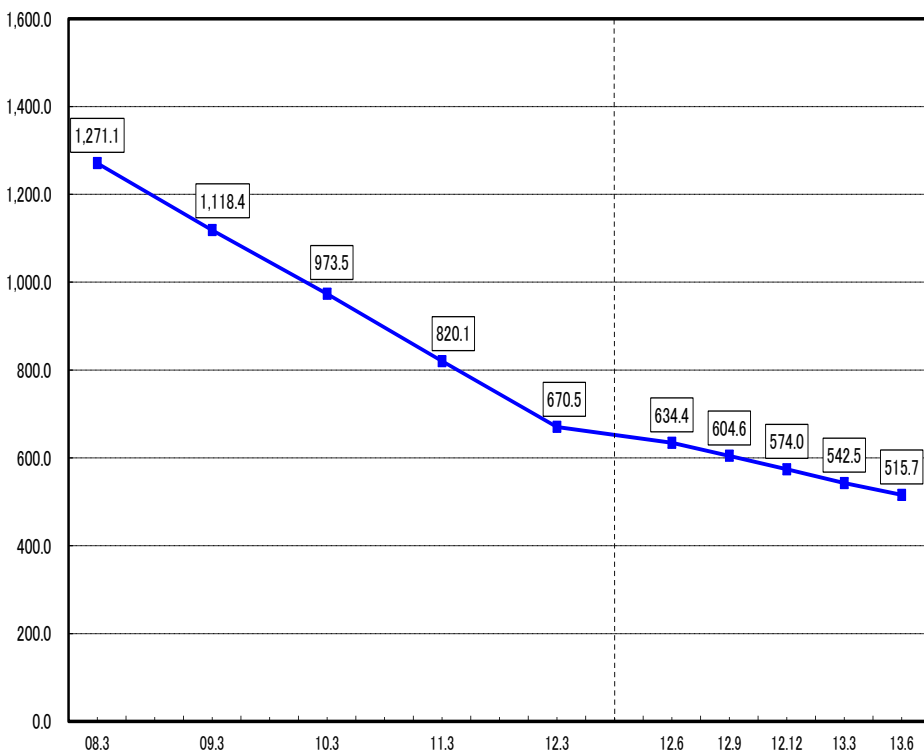


- DSLの契約数は、2013年6月末で516万(前期比▲4.9%)と減少が続く。
- シェアは、1位のソフトバンクは連結子会社となったイー・アクセスの合算に伴い、63.2%(前期(ソフトバンクBB及びイー・アクセスの合算)比+0.2ポイント)と増加した。シェア2位のNTT東西は34.0%(前期比▲0.1ポイント)と減少傾向にある。

【DSL契約数の推移】

【DSL契約数の事業者別シェアの推移(全国)】

(単位:万契約)



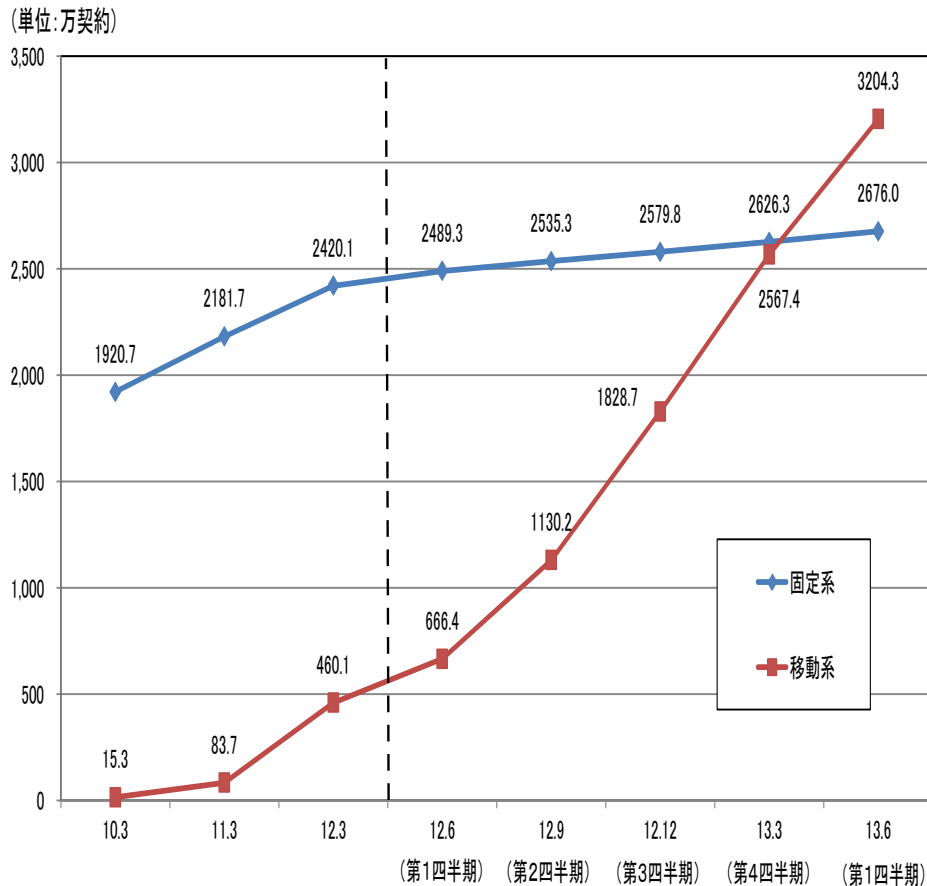
4-1. 超高速ブロードバンドサービス、ブロードバンドサービスの契約数等

- 2013年6月末時点の固定系超高速ブロードバンドサービス※1の契約数は2,676万(前期比+1.9%)であり、移動系超高速ブロードバンドサービス※2の契約数は3,211万(前期比+25.1%)と、ともに増加している。
- FTTHが最も高い割合を占めているのは15道府県(前期比▲24)。また、3.9世代携帯電話が最も高い割合を占めているのは32都県(前期比+24)である。

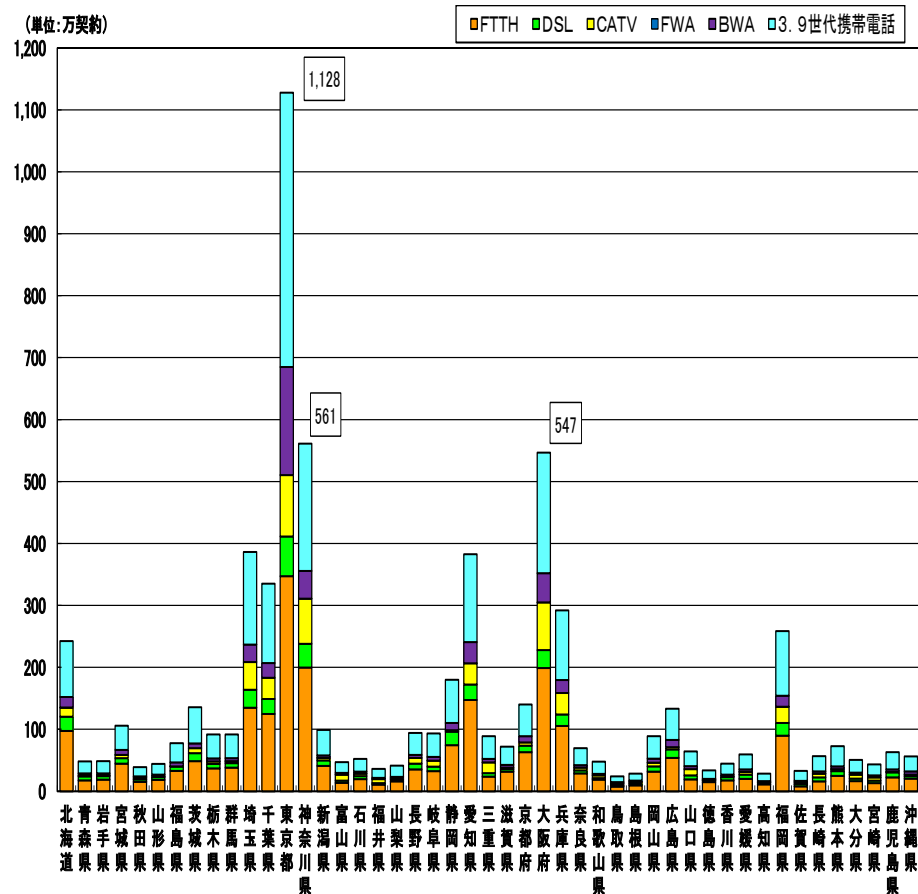
※1 固定系超高速ブロードバンドは、FTTHアクセスサービスとCATVアクセスサービス(30Mbps以上)の合計。

※2 移動系超高速ブロードバンドは、3.9GアクセスサービスとBWAアクセスサービスの合計。

【超高速ブロードバンドサービス契約数の推移】



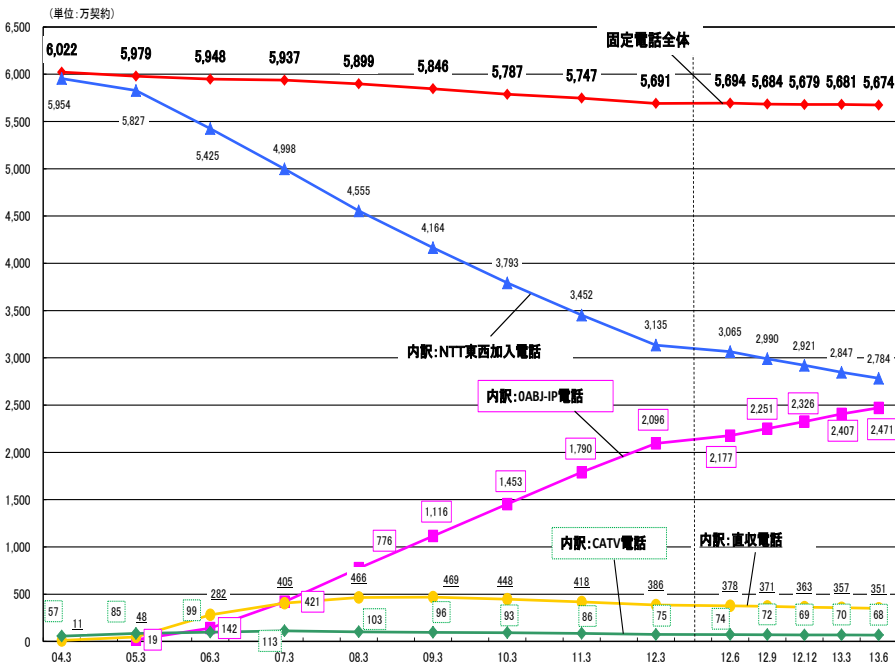
【ブロードバンドサービスの都道府県別の契約数】



5-1. 音声通信／固定電話の契約数の推移、事業者別シェアの推移

- 固定電話（NTT東西加入電話、直収電話、OABJ-IP電話及びCATV電話）全体の契約数は、2013年6月末で5,674万（前期比▲0.1%）とおおむね横ばいとなっている。このうち、NTT東西加入電話は2,784万（前期比▲2.2%）と減少が続く一方、OABJ-IP電話は2,471万（前期比+2.7%）と増加が続いている。
- 固定電話契約数全体に占めるNTT東西のシェア（NTT東西加入電話及びNTT東西OABJ-IP電話の合計）は、75.8%（前期比▲0.7ポイント）と減少が続いている。KDDIのシェアは、連結子会社となったJ:COMグループとの合算に伴い、16.5%（前期（KDDI及びJ:COMグループの合算契約数の推移）と増加している。

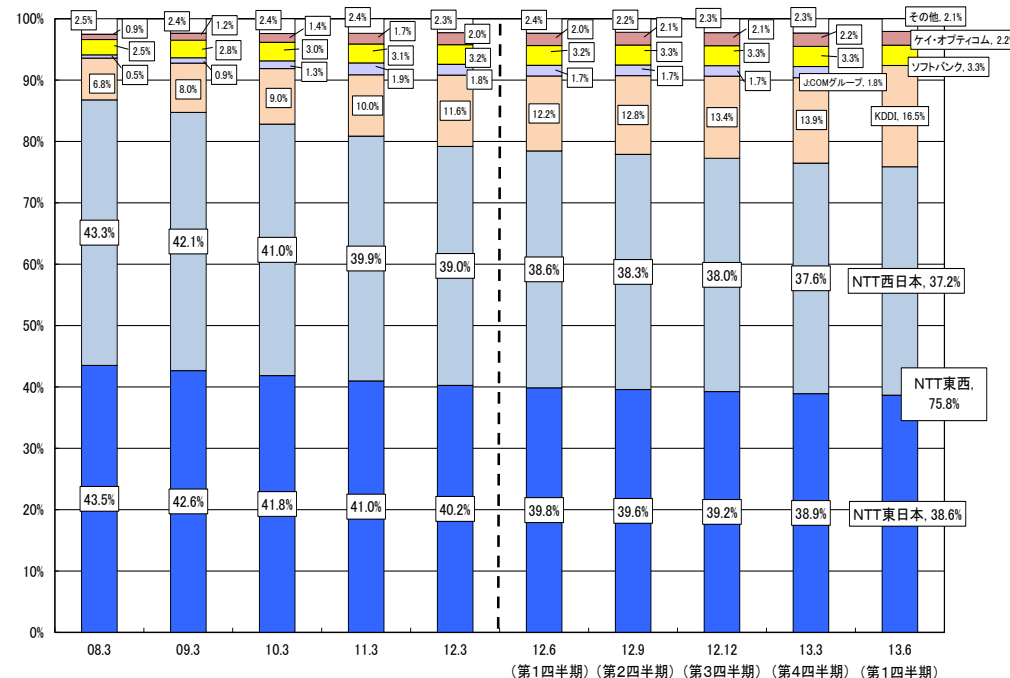
【固定電話の契約数の推移】



注1：固定電話とは、NTT東西加入電話（ISDNを含む。）、直収電話（直加入、新型直収、直収ISDNの合計）、OABJ-IP電話、CATV電話を指す。

注2：OABJ-IP電話は、利用番号数をもって契約数と見なしている。なお、OABJ-IP電話はNTT東西加入電話等との代替性が高いため固定電話に加えている。

【固定電話の契約数の事業者別シェアの推移】

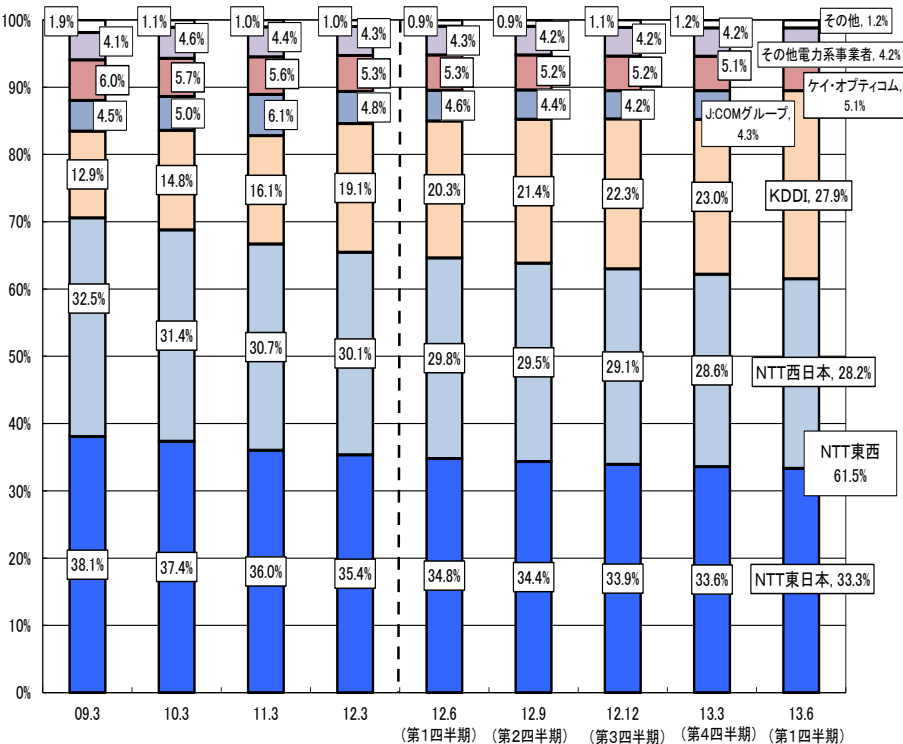


注1：NTT東西のシェアは、それぞれ加入電話（ISDNを含む。）、OABJ-IP電話の合計を示す。

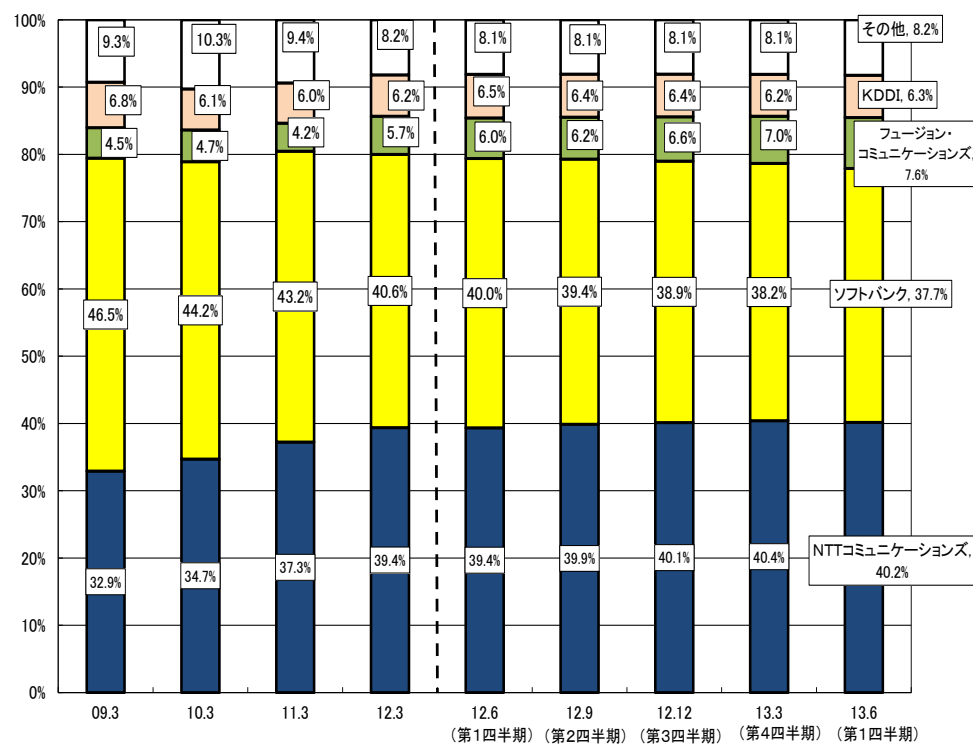
注2：2013年度第1四半期において、J:COMグループがKDDIの連結子会社となったことに伴い、J:COMグループの契約数については親会社のシェアに合算している。

- 050番号の利用数は、716万(前期比▲0.7%)と減少傾向にある。
- 0ABJ番号におけるNTT東西のシェアは、61.5%(前期比▲0.7ポイント)と減少傾向にある。一方、KDDIのシェアは、連結子会社となったJ:COMグループとの合算に伴い、27.9%(前期(KDDI及びJ:COMグループの合算)比+0.6ポイント)と増加している。
- 050番号におけるシェアは、NTTコミュニケーションズは40.2%(前期比▲0.2ポイント)と減少に転じており、ソフトバンクも37.7%(前期比▲0.5ポイント)と減少が続いている。

【事業者別シェアの推移(0ABJ番号)】

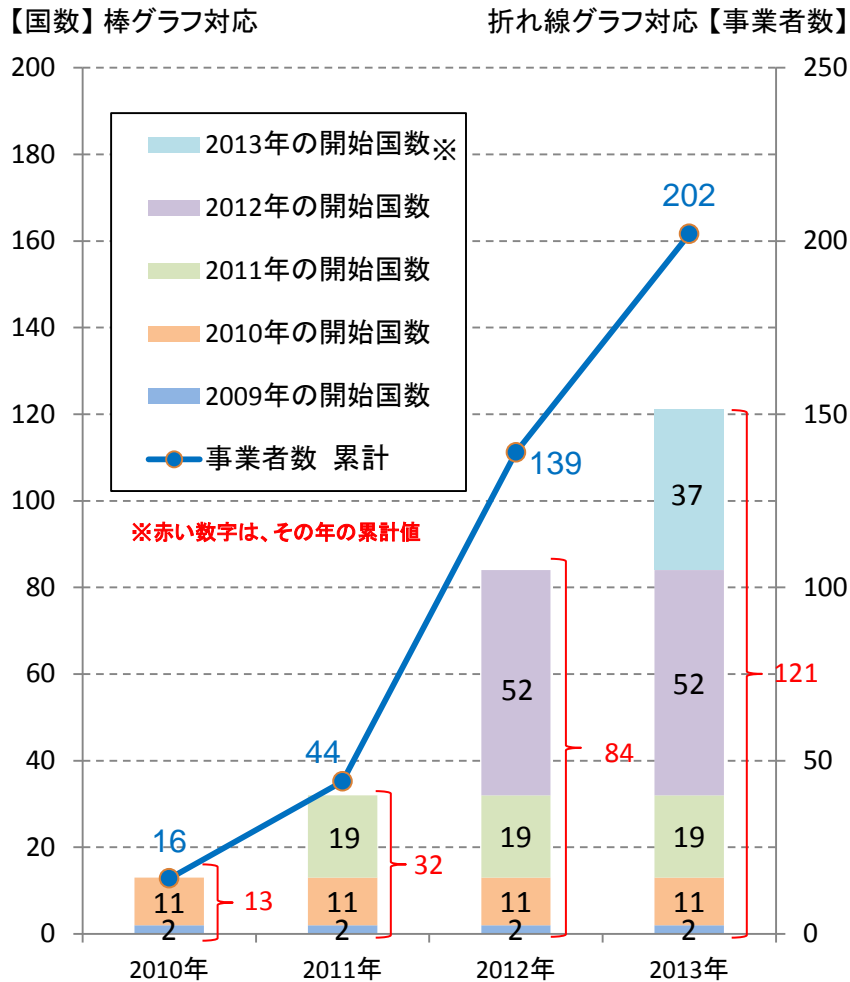


【事業者別シェアの推移(050番号)】

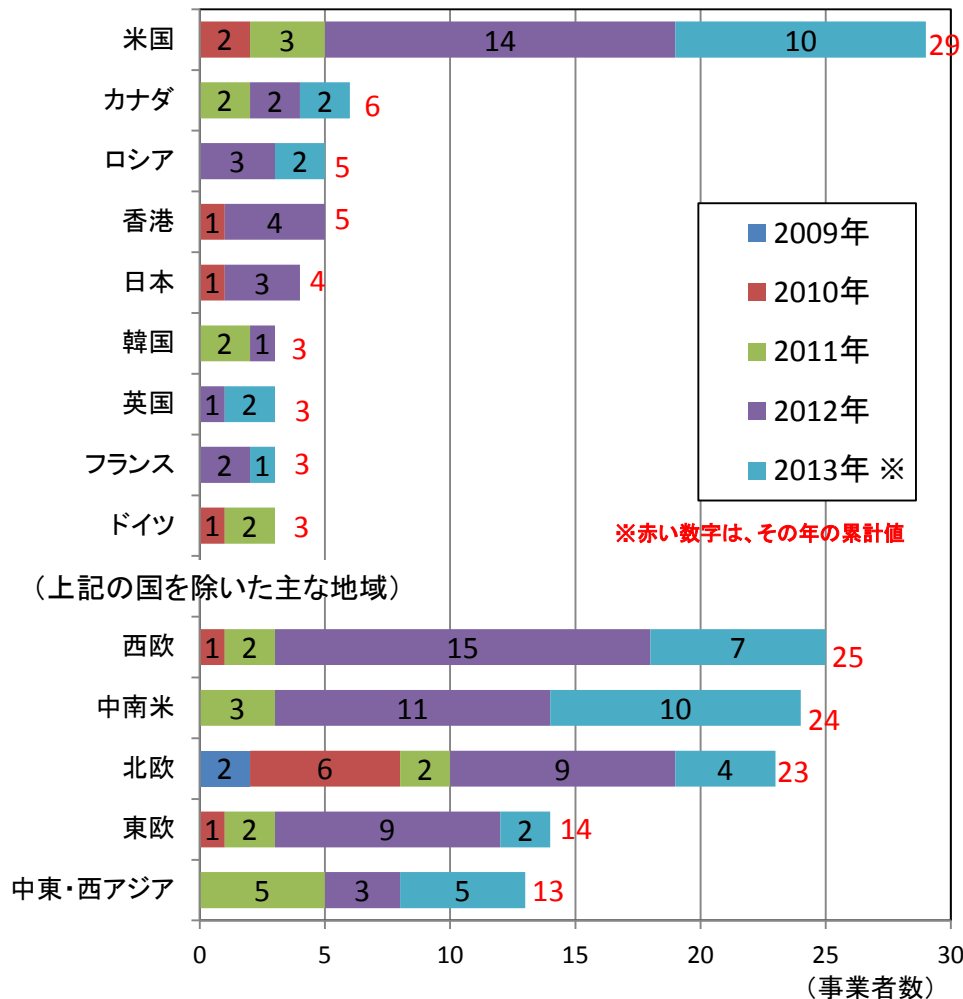


- LTEサービスは、2009年にノルウェー、スウェーデンで開始した(各1社)。日本では2010年に開始している。
 - LTEサービスを開始した事業者は、のべで202事業者、121か国になっている。(※)
- (注) TD-LTE(時分割多重方式)を除く数値。なお、LTEサービスを開始した事業者を積み上げた数であり、サービスの廃止、事業者の統合等は反映していない。

【LTE事業者数及びLTEサービス開始国の推移】



【主要国及び主な地域別のLTE事業者数の推移】



※ 2013年の数値は、2013年9月5日までの数値

出所:「Global mobile Suppliers Association」(2013年9月5日)